



# とくち

1976 9 / 7

発行者 徳 地 町 長

編集者 徳地町企画室

印刷所 今 澄 印 刷



▲ 中央小学校生徒元気に登校（9月1日写す）

## さあ二学期

### 元気に登校

40日にもわたった夏休みも、ようやく終り1日から2学期が始まりました。宿題の整理は8月中には終わったことでしょう。

皆んな日焼した顔で夏休み中の作品などたくさん持って元気に登校しています。

勉強に運動に心の入れかえをしがんばってほしいものです。

## 季節の話題

日中は、まだ残暑がきびしいようですが、朝夕は、ほっとするような涼しい空気が、ソデやエリにしのびこんできます。夕食のあとかたづけをすませて、縁がわに腰をおろすと、習慣で握っているウチワもいらぬほど、あの強烈な暑さを通りぬけて、いま、庭のすみから聞こえてくる虫の声に秋のたのしさを感ずるきようこのごろです。

あれ松虫が鳴いている

チンチロチンチロ チンチ

ロリン

あれ鈴虫も鳴き出した

リンリンリンリン リン

リン

秋の夜長を鳴き通す

ああおもしろい虫の声

秋の夜長といいますが、夜のいちばん長いのは「冬至」のころです。秋は、夏の短夜（みじかよ）のあとなので、急に長くなったような気がします。だいぶふけたなと思って時計をみると、まだ宵（よい）の口だったりにして。寝るには早いしなどと、つい夜ふかしはいけません。お子さんのいるご家庭では新学期が始まったばかりです。この季節のよいうちに、やっておける事はすませておきましょう。

# 9月15日は敬老の日

## お年寄りを たいせつにしましょう

敬老の日は多年にわたり社会につくしてこられたお年寄りを敬愛し、長寿を祝う日です。町民の皆さんこそぞってお年寄りを祝ってあげましょう。町内の高齢者、米寿者（八十八歳）は次の方々です。

「長寿おめでとうございます」

◎高齢者  
清水 サト（九十七歳） 鮎

◎米寿者（八十八歳）  
武永 ヨウ 島地（上村）  
山本 チカ 八坂（梶畑）  
吉松 ムマ "（夏焼下）  
原田 モト "（下庄）  
桑原 敏夫 "（下庄）  
山村猪之助 出雲（上市）  
新谷 アキ "（堀）  
長沼 熊吉 "（二宮）

## 町議会第四回臨時会 一般会計補正予算を可決 町営住宅建設費など追加

昭和五十一年臨時会第四回町議会議を八月十日招集、会期一日で、次の四議案を審議可決、承認しました。

提出議案内容については、次のとおりです。

◎昭和五十一年度徳地町一般会計補正予算について  
補正予算額一六〇、〇四二千元  
主な事業としては町営住宅建築費（四階建、一棟二四戸）と建築

用地購入費及び申中屋体補修工事費が見込まれ補正したもので

◎工事請負契約の締結について  
◎第二次林業構造改善事業の林道宮ノ奥線開設工事  
二五、八〇〇千円、俣 林 組

◎同  
上野谷線開設工事  
二四、六〇〇千円 原田建設俣

◎工事請負契約について  
◎連絡農道整備事業の白谷農道舗装工事

一〇、一四〇千円 俣 井原組  
◎工事請負契約の締結について  
◎新井手頭首工災害復旧工事  
二六、三〇〇千円 俣 井原組

家事相談会

（心配ごと相談）開催  
徳地町ならびに徳地町社会福祉協議会では、山口調停協会と共催で、山口家庭裁判所の協力をいたし、家事相談会（心配ごと相談）を開催します。

### 敬老年金を支給します

敬老年金は、町の条例に基づき徳地町に住所を有する高齢者（満八十歳の方へ敬老の意を表わすとともに福祉の増進を目的として年金額四千円を毎年九月に支給することになっておりますので本庁各支所でお受け取り下さい。

◎六十五歳以上のお年寄り

◎榎野地区	一八六名
◎八坂地区	五〇九名
◎出雲地区	六六六名
◎島地地区	四四九名
◎串地区	一七四名
計	一、九八四名

（順序不同、敬称略）

◎藤本 篤一 出雲（志手原）  
◎永田 スミ "（土井）  
◎山下 フイ "（麻生）  
◎中川 米一 "（麻生）  
◎蔵本金兵衛 串（上角一区）  
◎藤本 クラ "（上串一区）

### 敬老会日程表

老人クラブ名	日 時	場 所
榎野	十五日 九、三〇	榎野小学校
船路	" " " "	德祥寺
野路	" " " "	中央上公会堂
船路	" " " "	御馬公会堂
榎野	" " " "	三谷小学校
榎野	" " " "	引谷小学校
榎野	" " " "	八坂公民館
榎野	" " " "	御所野小学校
榎野	" " " "	小古祖公民館
榎野	" " " "	中央公民館
榎野	" " " "	伊賀地小学校
榎野	" " " "	有倫館
榎野	" " " "	山畑公会堂
榎野	" " " "	島地温泉
榎野	" " " "	島地公民館
榎野	" " " "	上村集会所
榎野	" " " "	上串公会堂
榎野	" " " "	下串集会所
榎野	" " " "	遊内集会所
榎野	" " " "	上角公会堂
榎野	" " " "	安登地公民館

◎期日 九月十六日（木）  
午前十時から  
午後三時まで

◎場所 山村開発センター

当日は、月例の心配ごと相談所と合同で開催しますが、特に夫婦親子、扶養、相続等家庭及び親族に関する諸問題については、山口家庭裁判所から担当の係官が来所され相談に応じていただきます。相談は、いつものとおり、すべて無料で、秘密は堅く守られますから、お気軽にご利用ください。すようお知らせします。

## 秋の交通安全健民運動

### 9月21日～9月30日

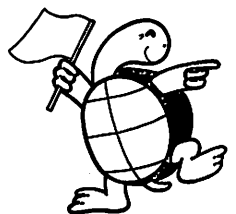
#### 「ゆっくり走ろう運動」の推進

- 歩行者、特に子どもと老人の事故防止
- 自転車利用者の事故防止
- シートベルト着用の推進

運動の  
重点



運転者向け



歩行者向け

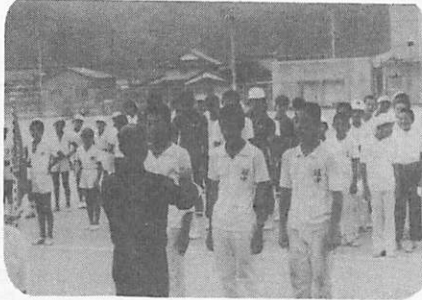
# 国保の高額療養費の 限度額が引き上げられました

国民健康の高額療養費支給制度が改正されました。これまで三万円であった自己負担の限度額が、八月一日から三万九千円に引き上げられました。この制度は同じ人が同じ病院、診療所で、お医者さんにかかって一カ月に三万九千円以上を負担した場合、その三万九千円を越えた額は、あとで払い戻すというものです。

自己負担が三万九千円を超えた

## 子ども会育成の 援助についてお礼

徳地町子ども会育成については平素より町民各位のご協力を賜わり誠に感謝致しております。



8月25日 子供会育成会球技大会

額についても保険で給付が認められているものに限り、大きな手術や入院など、多額の医療費が必要なときは負担がかなり軽くなります。

限度額を超えるか超えないかは二、三の要件もありますので詳しいことは国保係又は各支所へおたずねのうえ印鑑、領収書等持参され高額療養費支給申請の手続きをさせていただきます。

徳地町子ども会育成連絡協議会は子ども会の健全育成のために各種の活動を推進致しております。しかし一部の限られた人員や活動費だけではなかなか困難であります。やはり立派な子ども会を育成して行くためには町民各位の力強いご援助とご協力を仰ぐことが必要であります。これに対応して本年はこの目的を達成する意味において町民の皆さん方に趣意書をおくばりしてご協力をお願いしたいところ多数の方々から大変暖かいご援助を賜わりまして役員一同心より深く感謝致しております。

この町民各位の意に対しこれからの子ども会活動において十分に役だたせていただき二十一世紀を担う子どもの健全育成のために町民の皆さんとともに協力し合っ努力したいと思いますので、今後ともよろしくご支援とご協力の程せつにお願いするとともに今回

のご援助に対し役員一同本紙をもってお礼を申し上げます。

徳地町子ども会  
育成連絡協議会

## 「社会を明るくする運動」 募金にご協力のお礼

募金総額 三七五、六五九円

町民の皆様、私共、更生保護婦人会におきまして、先般「社会を明るくする運動」期間に際し、募金をお願いいたしましたところ、多くの皆様方から絶大なご協力をいただきました。誠にありがとうございます。

更生保護婦人会と申しますのは罪を犯した人や非行のあった青少年の更生をはかる国の更生保護事業に協力し、また地域内から犯罪者や非行少年を出さないようにするための予防活動を行い犯罪や非行のない明るく社会をつくらうとする篤志の婦人の集りの会です。

このたびの募金もこうした主旨のもとに実施いたしましたので集りました浄財は更生保護事業の運営資金に不自由をしておられる町の保護会を優先的に、そして県下の保護会、その他の数カ所の施設へそれぞれ少額づつではあります。が贈呈して社会を明るくする活動資金に役立てていただくことにいたしました。募金総額並びに贈呈額は次のとおりであります。

一、募金総額 三七五、六五九円  
二、募金所要経費 四三、七八〇円  
三、対象者並びに家族への  
保護予備金 五〇、〇〇〇円

一、町保護司会への献金 一二〇、〇〇〇円

二、県下の更生保護会、施設への献金 九〇、〇〇〇円

三、会員研修補助費 三五、〇〇〇円

四、会活動補助費 三六、八七九円

五、ここに誌上を拝借いたしました衷心より厚くお礼申し上げます。

なお、この募金につきまして婦人会、並びに一部の方々には一方ならぬお手数をおかけしましたことを会員一同深く感謝いたしております。どうもありがとうございます。

(厚生保護婦人会長 藤井光子さん寄稿)

## 9月はがん征圧月間

### がん予防には早期検診を

ここ数年、成人病の中で最も死亡率の高いのが脳卒中、次いでがん、心臓病の順となっております。

9月は、がん征圧月間ですが、がん征圧の一番の決め手は、早期発見だといわれています。

町では、八月胃がん、子宮がん検診を行いました。この征圧期間中徳山医師会病院、県立中央病院、山口赤十字病院で検診が行われます。受診されなかった方は、ぜひこの機会に検診されるようお勧めいたします。

詳細については保健衛生課衛生係へおたずねください。

## 9月の税金

国民健康保険税 三期分  
納税は九月三十日です。早めに納付しましょう。

## お年寄りと税金

長年にわたって社会に貢献してこられたお年寄りのために、国は老齢年金の引上げや、寝たきりの老人に対する扶助、老人ホームの拡充などいろいろな施策を行っています。

また、税金の面でもお年寄りにはいくつかの優遇措置がとられています。

そこで、お年寄りに有利な所得税の特典について説明してみよう。

● 本人が受けられる特典  
六五歳以上で、所得金額が一千万円以下の方には次の特典があります。

(1) 高齢者控除

所得税の計算をするときに、基礎控除や生命保険料控除などと同じ所得控除として、二〇万円が所得から控除されます。

(2) 老年者年金特別控除

国民年金や厚生年金などの公的年金や恩給は、給与所得として課税の対象になりますが、お年寄りが受けられるこれらの公的年金は、所得を計算するとき給与所得控除のほかに、老年者年金特別控除として七八万円が控除されます。

◎ お年寄りを扶養している人が受けられる特典

七〇歳以上のお年寄りを扶養している人は、一般の扶養控除二六万円に代えて、老人扶養親族一人当り三二万円が控除されます。

### 保健婦だより

皆さんの中に「徳地町栄養改善推進協議会」という名称を聞かれたことはありませんか。今月は、この協議会のもつ役割や、皆さんのかかわりあいについてお話ししましょう。

徳地町栄養改善推進協議会は、昭和四十七年に

栄養改善推進員、地区婦人会長及び学識経験者を構成メンバーとして発足し、「私達の健康は私達の手で」という合言葉のもとに、生活改善に努力しそからの健康づくりを目的としています。現在九三名の栄養改善推進員は、栄養教室を終了

された方々で無報酬で活動されています。次にこの協議会の実践活動をお話ししましょう。

皆さんの部落でも推進員さんの指導により、栄養指導や調理実習が行われていることとあります。毎年三回の研修会で栄養士、保健婦から栄養や健康づくりについて推進員自身が勉強します。それを今度は、自分の部落で、推進員が指導者となって、栄養指導調理実習をすすめていきます。町からも補助金が交付され年々活動もさかんになってきていますが、まだまだ参加者が少なくいつも同じ人に限られています。勉強の内容は、今年度も昨年度にひきつづき高血圧予防に重点を

おき、「うす味でおいしく食べる工夫」、「食品に含まれる塩分」などをとりあげ、減塩食を実際調理し、試食しています。部落で行われる時の参加者には、調理の献立内容により、若干の経費をいただくことがあります。どなたでも受講できます。できるだけ皆さんの都合のいい日を選ぶよう推進員も苦労しています。

毎日の食事は他人ごとではありません。明日の家族の健康がかかっています。昔前のような栄養失調はみられません。栄養過剰あるいはアンバランスな食事内容など、現在も食生活の問題は少なくありません。いろいろな食品の繁

## 「栄養改善推進協議会とは」



乱する時代だからこそ、もう一度わが家の食卓をふり返り改善されるべきところは、ぜひ改善しましょう。そして皆さんの手で、皆さんのためにある協議会を、より充実したものに育てましょう。

この協議会の事務局は保健衛生課においていますので詳しく知りたい方は、ご連絡ください。(四五九四二)

昭和五十一年度  
おかあさんの  
読書感想文 募集

次の要領で、おかあさんの読書



### 消防車、積載車を購入

町では、消防施設の整備強化を計り消防態勢をととのえるため、消防車一台、積載車一台を購入しました。八月五日役場前庭で消防団長以下関係団員が集合し、町長より島地分団に消防車、八坂分団に積載車各一台が交付されました。

### 農業祭十五周年記念 農林漁業 写真コンクール

全国の農民が収穫の秋を感謝するとともに、その喜びを都会の消費者と共にわかち合うという目的で毎年十一月二十三日の勤労感謝の日を中心に農業祭を催しております。

今年十五周年を記念し写真コンクールを開催、農林漁業に関するある写真を広く一般から募集します。

題材、農林漁業に関係のあるもので、明るく楽しい前向きな姿をテーマにした作品

(例えば、農山漁家の生活、生産活動と都市消費者との交流等色彩およびサイズ (1) 色彩は黒白写真とカラープリントの二部門とする。2) サイズはキャビネ判以上で、単写真と組写真(七枚以内)の二部門とし、応募点数

入賞発表 十月下旬  
課題図書 次のとおりで町図書館にもそろえています。

課題図書	著者
生きるための自由	石川達三
日本人は死んだ	M.トクテイヤ 箱崎純一郎
わが一期一会	井上靖
暮らしの中の日本語	池田弥三郎
志賀島	岡松和夫
火宅の人	檀一雄
細川ガラシャ夫人	三浦綾子
聖職の日	新田次郎
絵のない絵本	アンデルセン 矢崎源九郎
銀河鉄道の夜	宮沢賢治

は制限しない。  
締切り 十月十五日  
(当日消印有効)  
応募先 東京都台東区秋葉原二丁目三  
日本農業新聞  
「農業祭写真コンクール」係  
発表 入賞者に直接通知、日本農業新聞十一月二十二日付紙上発表する。



- ▼一万円 大字深谷字御所野の原田恭智さんからご尊父、故藤吉さんの香典返しの一部として
  - ▼五万円 山口市中市町の藤村節正さんからご母堂、故シマさんの香典返しの一部として
  - ▼一万円 大字堀字本町の川口宗義さんからご養母、故キヌヨさんの香典返しの一部として
  - ▼二万円 大字堀字上庄方の藤田照美さんからご母堂、故サキ子さんの香典返しの一部として
  - ▼二万円 大字藤木字立石の井上哲夫さんからご尊父、故佐一さんの香典返しの一部として
  - ▼二万円 大字船路字中央上の竹内知行さんからご母堂、故マスヨさんの香典返しの一部として。
- いずれもありがとうございます。社会福祉事業のため有意義に役立てていただきます。